

防災体験授業 in 加古川市立野口小学校

～防災教育の充実に向けた支援の取組～

H30.9.27

～姫路河川国道事務所～

自然災害から命を守るために、一人一人が災害時に適切な避難行動をとることができる能力を養う必要があります。幼少期から防災教育を進めることは、自然災害に関する「心構え」と「知識」を備えた個人を育成することに効果的であり、これにより、子供から家庭、さらには地域へと防災知識等が浸透していくことが期待できます。今回、加古川減災対策協議会では防災教育の充実に向けた取組の一つとして、加古川市立野口小学校の協力により、小学4年生（4クラス）を対象とした防災授業を実施しました。

概要

対象河川：加古川水系加古川

位置図



防災授業（座学）



浸水歩行体験



ハザードマップ学習



土のう作り



土のう積み



加古川の浸水想定区域

体験した感想

- 洪水になる前に、早めにひなんしないといけないと思った（男子）
- ながぐつは歩きにくい！（男子）
- 土のうも作るのはしんどかった（女子）
- 足がぬれると重くて前へ進みづらかった（女子）

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947 姫路市北条1-250 TEL 079-282-8211

